事例No.	1190
公表年度	R2
団体の属性	指定都市
団体名	神奈川県横浜市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・新たな政策手法の確立・活用 ・専門人材の確保

事例種類	海外展開事例

事例内容・タイトル

ベトナム国水道事業体等５機関との覚書事業
（ベトナム社会主義共和国）

出典

自治体水道事業の海外展開事例集（令和３年３月）

ベトナム国水道事業体等５機関との覚書事業（ベトナム社会主義共和国）

海外展開事例
横浜市－４

概要

横浜市水道局では、JICAプロジェクト等を通じて長年協力関係にあったベトナム国の水道事業体等５機関と覚書を締結し、「安全かつ持続可能な水道事業の実現」に向け、知識や経験の共有を進めている。

内容

〇フエ省水道公社、ホーチミン市水道総公社、ダナン市水道公社、ホーチミン市建設大学校南部水道訓練センター、水・環境分野研修センター（フエ市）の５機関と横浜市水道局の間で覚書を締結

〇ベトナム国でのセミナー開催、横浜での研修員の受入、日本で開催される国際会議へのベトナム側職員の招へい等の活動を実施

〇活動を通じて、ベトナム国の水道事業の改善に資する横浜水ビジネス協議会会員企業の製品・技術を紹介

〈覚書締結式の様子〉



〈研修受入時の意見交換の様子〉



背景

〇平成15年よりフエ省にて実施したJICA事業による技術協力をきっかけに、平成21年８月にベトナム国の水道事業体等３機関と覚書を締結。

〇以降、３度の覚書更新を経て、また参加機関を５機関に拡大した。

〇フエ省水道公社と別途締結していた二者間の覚書（平成29年７月-令和元年末）の流れを汲み、横浜水ビジネス協議会会員企業を交えた交流が始まった。

過程

〇平成30年11月５日
ホーチミン市で覚書を締結し、翌日にセミナーを開催。
覚書の期間は、令和5年末までの５年間。

〇令和元年7月８日～14日
横浜市で開催された「第11回水道技術国際シンポジウム」に併せて研修員受入を実施。ベトナムから２名が参加し、うち１名はシンポジウムで口頭発表を行った。

〈関係ＨＰアドレス〉
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/suido-gesui/suido/torikumi/koken/kokusai-kyoryoku.html